

■欧州：系統運用者、入札ゾーン見直しの考え方に関する提案を提出

2019年10月7日付の欧州電力系統運用者協調機関（ENTSO-E）のプレスリリースによると、欧州の系統運用者らは、卸市場の入札ゾーン見直しに当たっての考え方、方法論の提案を、欧州各国のエネルギー独立規制機関に対し提出した。これは、2019年6月に成立したEU域内電力市場規則の第14条における規定に従った措置と位置づけられる。今後、規制機関は3カ月以内に、今回のENTSO-Eの提案に関する決定を全会一致で行う（ここで決定に至らなかった場合は欧州エネルギー規制者協調機関（ACER）がさらに3カ月の間に決定）。こうしたプロセスを経て、入札ゾーン見直しの方法論が承認されれば、系統運用者らは加盟国および規制機関に対し、12カ月以内に具体的な入札ゾーンの維持ないし変更に関する共同提案を行うとしている。